

都立国際高校 年間授業計画 / Tokyo Metropolitan Kokusai High School Course Syllabus

○ 科目基礎情報 (Course information)

開講年度 (Academic year)	令和4年度 (2022 年度)
開講学科 (Department)	国際学科 / Course of International Studies
教科 (Subject Area)	地理歴史
科目 (Subject)	国際地理
担当者 (Subject Teacher)	
学年・クラス (Grade・Class)	1年IBコース
単位数 (Number of units)	2
使用教科書 (Text Books)	高等学校新地理総合(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)
校外学習 (Field trip)	なし

○ 教科の目標 (Goals of the subject area)

<p>【知識及び技能】 (Knowledge and Skills)</p> <p>現代世界の生活文化の多様性や地球的課題への取組みの理解や各種資料の分析・活用や調査・研究・討論・発表などアクティブラーニングを通して、主体的な学習態度を養い、情報活用能力、技能表現能力を培う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (Ability to think, make judgements, express themselves)</p> <p>現代世界の諸地域・諸文化の多様性について、比較や関連づけを通して各地域が持つそれぞれの特徴を多面的・多角的にとらえる考え方を身につける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (Motivation to learn, Humanity)</p> <p>国際社会の一員として、それぞれの国・地域・民族の持つ生活・文化を尊重し、そこから学ぶ態度を養い、人類共有の国際社会を築いていく意識を持つ。</p>

○ 科目の目標 (Goals of the subject)

【知識及び技能】 (Knowledge and Skills)	【思考力、判断力、表現力等】 (Ability to think, make judgements, express themselves)	【学びに向かう力、人間性等】 (Motivation to learn, Humanity)
現代世界の生活文化の多様性や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、資料の分析・活用や調査・研究・討論・発表などアクティブラーニングを通して、主体的な学習態度を養い、情報活用能力、技能表現能力を培う。	国際地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される人類共有の国際社会を築いていく意識を持つ。

○ 授業計画 (Course schedule)

単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	評価規準 Evaluation Criteria	A100ea			配当 時数
			知 ①	思 ②	態 ③	
◆国際理解の考え方について、世界の諸地域の生活・文化は自然環境や歴史などさまざまな要因から形成されるものであり、その価値を評価・批判することは不可能であることを取り上げる。 ◆メンタルマップを製作することで自分の世界観を確認するとともに、他者のものと比較することでさまざまな世界観、イメージがあることを認識する。	国際地理オリエンテーション メンタルマップ作製 ・教科書、資料集 (通年) ・一人1台端末の活用 (通年)	①【知識・技能】 国際理解の考え方を理解する。メンタルマップを通して現在の自分が認識している世界を理解する。 ②【思考・判断・表現】 他者との比較により自分の世界観を多面的に分析する。 ③【主体的に学習に取り組む態度】 自分の認識する世界地図を通して、1年間の学習の課題を見つけ、主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	2
◆地球のプロフィールを知る ◆緯度の違いは、私たちの生活にどのような影響を与えているか理解する ◆地球儀、メルカトル、正距方位、サンソン、モルワイデ、グード図法に関して理解し、平面と球体を比較しながら特徴を考察する ◆地理情報システム(GIS)のメカニズムを理解し、活用しながらその特徴を体験する	地球上の位置と私たちの生活 さまざまな世界地図 GISとは？	①日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 ②地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
定期考査 Examination			○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	評価規準 Evaluation Criteria	知 ①	思 ②	態 ③	配 当 時 数
1学期 (1st semester)	生活文化の多様性と国際理解	・世界の地形と人々の生活、世界の気候と人々の生活、世界の言語宗教と人々の生活	①【知識・技能】 世界の人の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 ②【思考・判断・表現】 世界の人の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	◆そもそもなぜ文化というもの生まれたのか？グループディスカッションをしながらその成り立ちと地域性がうまれる背景について考察する ◆物質文化、精神文化、制度文化について取り上げ、どのようなものが文化といわれるか理解する。	文化とは何か？	①文化の言葉の定義やなぜ文化が生まれたのか、そして文化の理解の考え方を理解する。 ②さまざまな文化が成立した背景を多面的に考察する ③なぜ地域によって文化が多様になるのか課題を発見し、主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	◆自分が興味を持った世界の諸地域における生活文化について日本など他の地域と比較しながらその特徴をレポートにまとめる。	比較地誌(生活文化・社会システム・自然環境)	①世界の人の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。世界の人の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 ②世界の人の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査 Examination			○	○	○	1
2学期 (2nd semester)	生活文化の多様性と国際理解	・歴史的背景と人々の生活、世界の産業と人々の生活	①【知識・技能】 世界の人の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 ②【思考・判断・表現】 世界の人の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査 Examination			○	○	○	1
	地球的課題と国際協力	・複雑に絡み合う地球的課題、地球環境問題、資源エネルギー問題、人口問題、食料問題、都市居住問題	①【知識・技能】 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 ②【思考・判断・表現】 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	15
定期考査 Examination			○	○	○	1	

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	評価規準 Evaluation Criteria	知 ①	思 ②	態 ③	配当 時数
	3学期 (3rd semester)	自然環境と防災	・日本の自然環境、火山災害と防災、気象災害と防災、自然災害への備え	①【知識・技能】 我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 ②【思考・判断・表現】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。			
生活圏の調査と地域の展望		・地域調査	①【知識・技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 ②【思考・判断・表現】 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③【主体的に学習に取り組む態度】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。				7
定期考査 Examination				○	○	○	1

総授業時数 Total hours	78
----------------------	----